

12月28日～30日 南ア 鳳凰三山

メンバー：L 倉澤、佐藤

コースタイム

28日：夜叉神峠P（発）8：40～夜叉神峠9：50～火事場跡12：15（大休止）～南御室小屋14：00

29日：南御室小屋5：50～砂払岳6：50～薬師岳7：30～観音岳8：10～地藏岳9：30（大休止）～観音岳11：00～南御室小屋12：30

30日：南御室小屋4：55～火事場跡6：10～夜叉神峠7：50～夜叉神峠P（着）8：40

去年、鳳凰ワン山となっていた所に三山とすべく、同じメンバーで行ってきました。

雪が少なく歩きやすかったですが、薬師岳から観音岳の稜線での強風を体験でき、良い山行となりました。

28日、林道が通行止めとの事で前日27日に夜叉神峠Pで前夜泊。

27日、少し予定より遅れて出発し、一年前を思い出しながら夜叉神峠への登り、その後はダラダラとした登りを南御室小屋まで。天候も一年前と変わらずの晴天。今回はそんなに疲れずに本日のテン場となる南御室小屋へ。2日間お世話になるテン場を念入りに整地し明日に備え早めの就寝。明日も天候は期待できる。

29日、冷え込んだ朝を迎え、シュラフとカバーの間が結露する。長期の冬季テント泊はどうするのだろうかという疑問に思い、これは先輩方に相談だ！！と話し合いながら出発。薬師から地藏までの稜線も相変わらず雪が少ない。ただ、白井沢から吹き上げる風は強く雪山を強く意識させる。サングラスやゴーグルの曇りと戦いながら、アップダウンのある道を行きオベリスクの印象的な地藏岳へ。お地藏さんが並んでおり、これは元気な子供の出産を願いつつ持ち帰り、お礼に二つにして返すそう。改めて山岳信仰への思いを馳せる。大休止後、来た道を引き返す。テン場へと帰り、肉、野菜と豪勢な夕食を堪能し湿ったシュラフを乾かしつつ就寝。明日は早出してゆっくと汗を流そうと相談する。

30日、今朝も寒い。（下山後、近くのアメダスから気温を予想すると-17℃）周りのテントはまだ暗い。下山へ。途中、火事場跡で北岳の池山吊尾根を望むと、2箇所ヘッドライトの明かりが城峰とポーコン沢の頭の間で見え隠れする。きっと北岳へ行く先輩方だと思いエールを送る。夜叉神峠Pへは8：40着。予定していた温泉はまだ空いていないので、葦崎の温泉へ変更し2日間の汗を流し、今年の山納めとしました。

冬の連泊練習にはちょうど良い行程と寒さであり、天候にも恵まれた山行でした。あと、ヘッドライトとゴーグルの再点検をお願いしますよ、Sさん！！